

プログラミング 楽しい！ 南山大で小学生体験教室

教室に参加する親子と指導する蜂巣教授
名古屋市長和区の南山大で



小学生がプログラミングを体験する教室（中日新聞社主催）が7月27日、名古屋市長和区の南山大であった。県内の小学1〜3年生24人が参加した。小型端末に図柄を映したり、音を鳴

らしたりできるプログラムを組んで基礎を学んだ。

ボタンを押すと、ゲームのアイコンが端末に表示されるじゃんけん作りに挑戦した。同市平針南小1年中野翠星さん（7）

は「最初は分からなかったけど、やっているうちに分かってきて楽しかった」と興味を深めた様子。講師を務めた南山大理工学部の蜂巣吉成教授は「身近なものを作ることを通して、プログラミングの楽しさを知ってもらいたい」と話した。

教室は、「全国選抜小学生プログラミング大会」の県大会の作品募集に合わせて実施。9月30日まで、県内の小学生を対象に「みんなのmiraい」をテーマにしたプログラミング作品を募っている。最優秀賞受賞者は、来年3月に東京で開かれる全国大会に出場する。詳しくは県大会ホームページQRコードへ。
(石山文尊)